

2010年
(平成22年)
10月発行
第1号

宝同協だより

編集発行: 宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会 学校教育課 TEL:0797-77-2040 FAX:0797-71-1891

みなさん、こんにちは 創刊号をお届けします

宝塚市人権・同和教育協議会

わたしたち「宝塚市人権・同和教育協議会」は、同和教育をはじめとする様々な人権問題を解消し、宝塚市に住むすべての人々の人権が損なわれることなく、心豊かに暮らせる人権文化が薫る街づくりのために、人権教育・啓発を進めている協議会です。

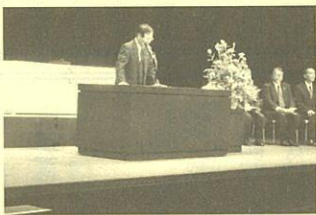
わたしたちの具体的な願いは

- ◎ 生まれてきたかけがえないすべての「いのち」が愛に育まれ、すくすくと育ちゆくことです。
- ◎ 子どもであろうが、女性、障がいのある方、高齢の方、在日の外国の方であろうが、違いを認め合い、共に人権が尊重され安心して暮らせる街であることです。
- ◎ 立場が弱いとか、少数であるとか、他と違っているとか、また、出身地、学歴、職業、肩書き、心身の状況などの理由によって、差別されない社会であることです。

人権や同和教育問題は「難しい、特別なこと」とかおっしゃる方がおられますが、そんなことはありません。人間として当たり前のごとき、できることから行動すればいいだけです。

たとえば、みなさん方のすべての人がお持ちの『優しさ』と、人と人との『つながり』を大切にしていたければ『人権の薫る街』が誕生していく礎となること間違いなしです。みなさんと共に、人が人らしく生きていける街にしていきたいです。

この度、「宝同協だより」が創刊されました。今後、継続的に発行できればと願っています。



会長 和久 有彦

宝同協定期総会

5月20日(木)、ソリオホールにおいて定期総会を開催しました。

中川智子市長をはじめ、多数の来賓の方々にご来場をいただき、また、たくさんの方々にご出席をいただき、事業・決算報告及び活動方針・予算案等について審議をしました。

中川智子市長のあいさつ(抜粋)

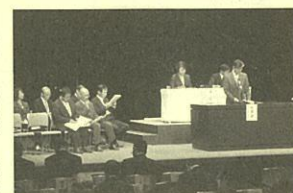
私自身の生き方の原点、政治の原点は、差別なんてない、そういう世の中を作りたいと思ったのが出発点でした。

私が、幼少の時に過ごしていたちは、被差別部落、在日の韓国・朝鮮人、沖縄の人たちが、それぞれ助け合って暮らしていました。差別がある故に、同じように遊べない、好き合うことすら当たり前前にはできない…。こんな社会に常に怒りを持って生きてきました。

子育てをしているときに、「この子たちが大きくなったときには、もう差別なんてないだろう、同和のことを語らなくてもよいだろう。」と、友人たちと話し合いましたが、まだ、厳然として差別は残っています。

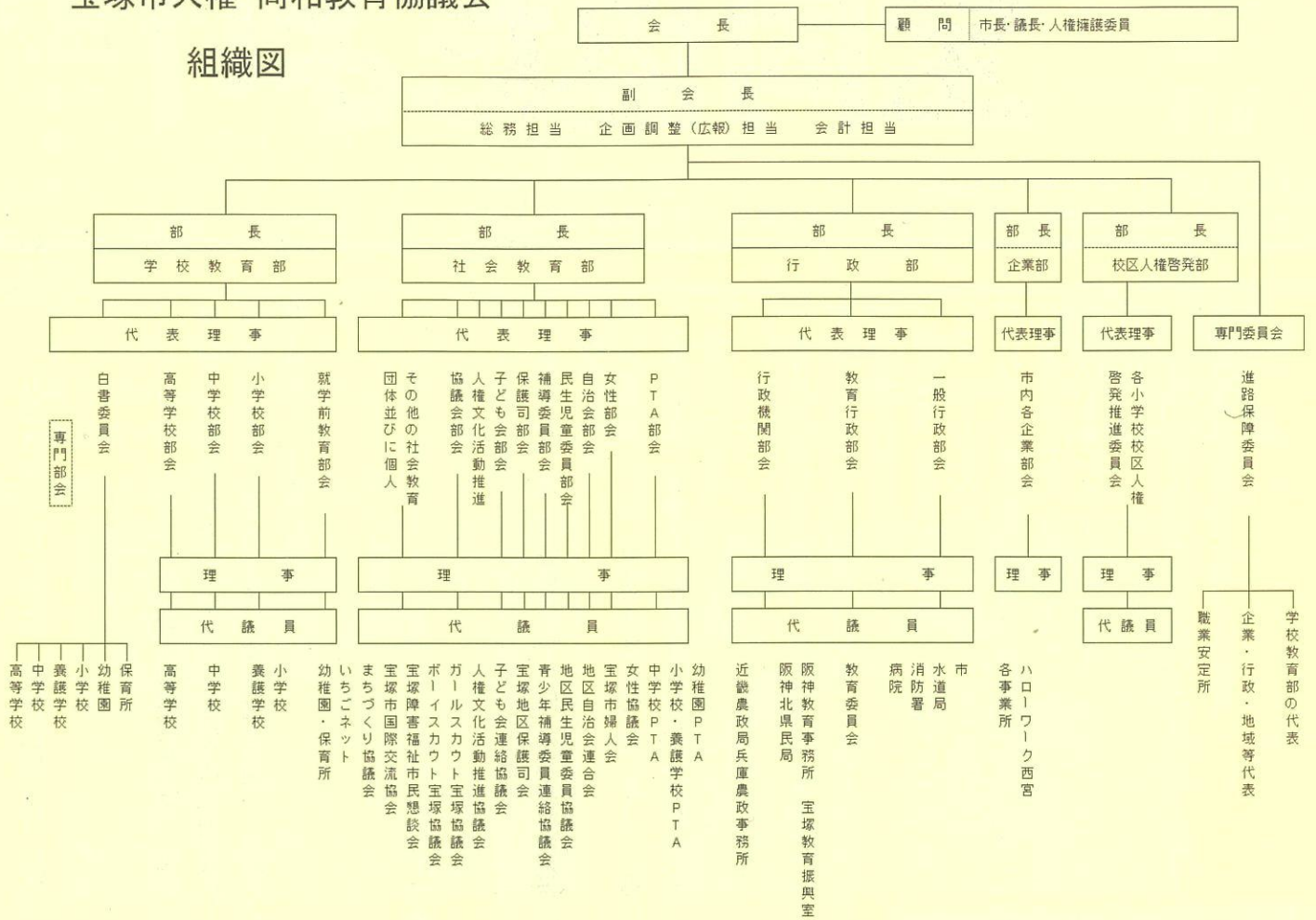
人権という言葉が使われなくても済むように、当たり前人間として尊ばれ、みんないっしょなんだという社会を、宝塚をつくっていくため、これからも、宝塚市は一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

みなさんと共に、心のバリアをなくし、目に見えない差別をなくしていくために何が出来るか、今すぐできることをしっかりと取り組んでまいりたいと思っています。



宝塚市人権・同和教育協議会

組織図



宝同協役員

- 会長 和久有彦
- 副会長 梅田美佐子 (総務担当)
- 竹内剛 (企画調整担当)
- 蔵城俊文 (会計担当)
- 部長 坂本充子 (社会教育部)
- 谷本政博 (行政部)
- 友金義一 (企業部)
- 香月皎司 (校区人権啓発部)
- 渡部秀雄 (学校教育部)
- 川浪咲子 (PTA部会)
- 会計監査

連載 夢と希望はどこに？

①誕生日

人には夢と希望を持ち続けられるすばらしさがあります。それが生きる力となり、明日への元気のもととなります。一方で、私たちはそれを持ち続けられず、落ち込んでしまうこともよくあります。そんなことをこの連載で考えてみたいと思います。

さて、人にはそれぞれあるものと、ないものがあります。それでこそ人間なのですが、「誕生日」はすべての人に平等にあるからすてきですね。

今、坂本龍馬で話題となっている高知県の土佐湾に流れ出る仁淀川の支流のほとり、



(和久)

四国山地の中腹に吾北(こほく)という小さな村があります。この村では10歳をお祝いする会が96年から始められていて、5月の土日に宿泊形式で行われています。問い合わせてみますと、今年も19名の子どもたちが集い、「暗闇たんけん・音との出会い・ふりーとーく・記念植樹」など楽しくもあり、成長へのステップとなる行事が行われたそうです。

ところで、この催しの名称がとてもいいのです。通常、1/2成人式とか言いますが、ここでは10歳をもじって「てんさい式」と名づけられています。村の人たちの子どもへの思いが伝わってきますね。こうして日本のあちらこちらで子どもたちに夢と希望が与えられているでしょう。

宝同協の略歴

「宝同協」の歴史を振り返ってみますと、一九五五(昭三〇)年に市民ぐるみで差別をなくす運動団体として「宝塚市民文化協議会(民文)」が誕生。

一九七三(昭四八)年に「宝塚市同和教育協議会」として発展的に改組が行われ、市内一五〇団体が加盟し、様々な人権問題に対する教育と啓発を行ってきました。二〇〇二(平一四)年に現在の名称(宝塚市人権・同和教育協議会)となり今日に至っています。

校区人権啓発部

小学校校区人権啓発推進委員研修会



7月21日(水)、「校区人権啓発推進委員会の活性化をめざして」というテーマのもとに、宝塚市人権教育指導員 西林陽子さんを講師に招き、小学校校区人権啓発推進委員の研修会が市立教育総合センターで行われました。

- 校区人権について...
- 自己紹介をしよう!
- 絵を描こう!
- 校区人権について話し合おう!



などの内容について、グループに分かれてワークショップが行われ、真剣な話し合いの中にも笑い声があり、和やかな雰囲気で行われ、真剣な話し

各校区での取り組み等が情報交換され、参加者は、今後の校区人権の活動に役立つ情報をたくさんおみやげとして持って帰りました。

阪同教

7月31日(土)、園田学園女子大学(尼崎市)において、第57回兵庫県人権・同和教育研究大会阪神地区大会が盛大に開催されました。分科会に先立ち、大阪教育大学教授 森実さんによる基調講演が「つながり分かち合う人権・同和教育の創造」というテーマで行われ、現在の人権・同和教育の実態と今後の課題等についてお話がありました。会場は参加者で一杯になり、熱心に聞き入る様子が伺えました。

○ 就学前教育 家庭地域との連携

「いったい、Aちゃんはどうしたいの?」 逆瀬川保育所

○ 学校教育 家庭地域との連携

「共に学び合う子どもを育てる」 長尾台小学校

○ 進路・学力保障 生きる力を育て

「差別を克服し、夢をあきらめない人生設計を育てる」 宝塚中学校

「ひとりひとりの希望にあった進路保障」 雲雀丘学園高等学校

○ PTA活動と人権 子どもとともに

「子どもの様子をどう思い、どのような事が出来たのか」 安倉中学校PTA



憲法週間記念事業

5月12日(水)、宝塚市立東公民館において、「憲法週間記念事業」として、講演会が開催されました。これは、宝同協行政部の研修会も兼ねており、演題は、「命みつめて〜ハンセン病問題への理解を深めるために〜」、講師は、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会事務局長 堅山勲さんでした。

療養所の実態、堅山さんの実際に見聞された具体的な体験等をわかりやすく講演していただきました。

参加者をはじめ広く市民に、ハンセン病を通じて人権問題を認識していただく、大変有意義な講演会となりました。

※ハンセン病は、現在の日本ではつづることなれば、発病に結びつく要因のない感染症です。現在、国内に15の療養所があり、約2,700名の方が生活していますが、強制隔離という差別で帰る所を奪われた方々なのです。

2009年度(平成21年度年度)人権・同和問題啓発作品入賞者 ※学年は、昨年度の学年です。

■人権啓発作文の部

◆最優秀賞

- 『友だち』 ぬり 菜奈子 (長尾南小学校3年) ●『私の足』 まつおか みく 松岡 未来 (長尾南小学校5年)
- 『高齢化社会と私』 きたかみ めくみ 北上 恵 (宝塚中学校3年)
- 『扉一枚の優しさ』 はまもと きょうすけ 濱本 恭 石 (雲雀丘学園高等学校2年)

■人権啓発標語の部

◆最優秀賞

- 『ありがとう きみがいるから がんばれる』 みやつち そういちろう 宮土 颯一郎 (長尾小学校2年)
- 『友達の 言葉やたい度は 私の鏡』 しんたに 新谷 あやね (長尾台小学校4年)
- 『ひきぬこう 差別する芽を 根っこごと』 きたたら たかひと 北浦 敬仁 (南ひばりガ丘中学校1年)
- 『あいさつに 添えるぬくもり あたたかさ』 ふくすみ みす 福住 美寿 (宝塚市民)



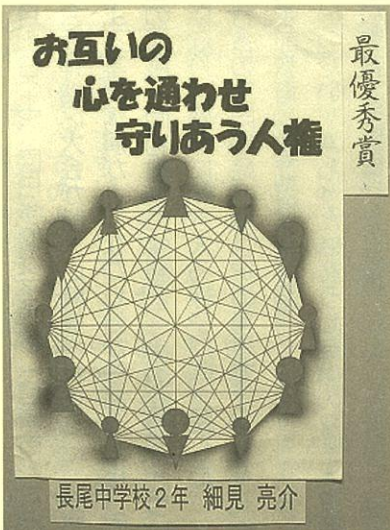
■人権啓発ポスターの部 ◆最優秀賞



山手台小学校3年 大塚 望由



安倉北小学校6年 末次 香澄



長尾中学校2年 細見 亮介



藤谷 久美子

お知らせ

- 解放文化祭(くらんど人権文化センター)10/28(木)~29(金) [ひらい人権文化センター]10/29(金)~30(土) [まいたに人権文化センター]11/11(木)~12(金)
- 平和特別講演会 10/30(土) 13時30分~ ソリオホール(無料) 講師: 広島市長 秋葉忠利さん
- 全人教研究大会 11/20(土)~21(日) 佐賀県佐賀市他 問合せ: 学校教育課 Tel: 77-2040
- 人権を考える市民のつどい 12/9(木) 13時30分~ ソリオホール(無料) テーマ「児童虐待の問題から見えてくるものは? 私たちは何をしたら良いのか?」 講師: NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 田上時子さん

編集後記

「宝同協だより」の発行に ようやくこぎつける事ができ、関係者一同、大変喜んで います。

今後、人権・同和に関する 情報や各種研究大会や学習会 等を広くご案内いたしますの で、みなさまの積極的な参 加とご協力をよろしくお願 いたします。ご投稿もお待ち しています。(坂本)

タイトル募集!

☆第1号は、タイトルを「宝 同協だより」として発行しま したが、新しいタイトルをみ なさまから募集したいと考 えています。FAXを事務局ま でお願いします。

FAX: 71-1891